



青少年向けCOVID-19 ワクチン 親と保護者向けよくあるご質問

5～17歳の青少年は、ファイザー製COVID-19ワクチンの接種を受けることができます。
ワクチン接種は常に無料です。

あなたもお子様も滞在資格について質問されることはありません。ワクチン接種会場を見つけるには、[VaccinateLACounty.com](https://www.vaccinate.lacounty.gov) または、[VacunateLosAngeles.com](https://www.vacunatelosangeles.com) (スペイン語) をご覧ください。

なぜ私の子供はCOVID-19のワクチン接種を受ける必要があるのですか？

COVID-19ワクチン接種は、お子様がCOVID-19に感染することを予防する最善の方法だからです。多くの場合、子供のCOVID-19の症状は大人よりも軽度ですが、重篤な病気になる場合もあります。一部の子供は入院治療が必要になったり、「小児多系統炎症性症候群」(MIS-C)で死亡することさえあります。これは、心臓、肺、腎臓、脳、皮膚、目、胃腸器官など、体のさまざまな部分が炎症を起こす状態を引き起こします。さらに、感染した子供の中には、長期的な後遺症(長期コロナ感染症と呼ばれる)が残る場合もあります。長期コロナ感染症になった子供は、倦怠感、頭痛、集中力の低下などの症状が現れます。この症状は、COVID-19感染後、数週間から数か月続くことがあります。お子様がCOVID-19で重症化することや、長期コロナ感染症になる可能性について事前に知る方法はありません。

お子様は、ワクチン接種を完了することで、日常の活動をより安全に行うことができるようになります。友達と遊ぶ、中断することなく通学する、スポーツを楽しむ、家族に会うために旅行することなどがより安全になります。特定のスポーツをしたり、大規模なイベントに参加するために検査を受ける必要もなくなります。また、症状がなければ、COVID-19感染者に接触した場合でも検疫を行う必要はありません。これには、学校、自宅、組織的なスポーツの競技中、または旅行後の感染者との接触が含まれます。

お子様がワクチン接種を受けることで、家族や友人を守ることもなります。これは、特にワクチン接種を受けていない人(5歳未満の子供など)、[高齢者](#)や[特定の基礎疾患](#)のある人など、感染した場合に重症の病気になるリスクが高い人を守ることに役立ちます。

詳細については、CDCの[子供及び10代の青少年向けCOVID-19ワクチン接種](#)を参照してください。

私の子供はどのCOVID-19ワクチン接種を受けることができますか？

5歳以上の子供は、年齢に応じた用量のファイザー製COVID-19ワクチン接種を受けることができます。

- 12歳以上の青少年は、成人と同じ用量のファイザー製ワクチン接種を受けます。
- 5～11歳の子供は、この年齢層向けに設定された用量のファイザー製ワクチンの接種を受けます。この有効成分は同じですが、接種用量は、通常ファイザー製ワクチンの接種よりも少ない1/3の用量であり、より細い注射針が用いられます。

どちらのワクチン接種も、21日間隔で2回の接種を受けます。ワクチンによる完全な保護を受けるためには、2回目の接種を受けることが重要です。お子様は、2回目の接種から2週間後にワクチン接種を完了したと見なされます。

モデルナ及びジョンソン&ジョンソン製ワクチンは、18歳未満の子供には使用できません。現在これらのワクチンは双方とも、18歳以上への使用のみ認可されています。

ファイザー製ワクチンの詳細については、ワクチン接種を受ける方及び介護者向けのファクトシートをご覧ください。

- [12歳以上](#)向け
- [5-11歳](#)向け



青少年向けCOVID-19 ワクチン

親と保護者向けよくあるご質問

青少年の場合、どのようなワクチンの副反応がありますか？

ワクチンの副反応は子供と大人で類似しており、腕の痛みや赤み、疲労感、頭痛、筋肉痛、発熱、悪寒などがあります。これらの副反応は、日頃の生活に多少影響してくるかもしれませんが、1～2日以内に体調は改善するはずで、全ての人に副反応が出るわけではありません。副反応は正常な反応であり、体が免疫力を高めていることを示しています。

子供が2回目の接種前に12歳になった場合、どのワクチン接種を受けさせたら良いですか？

推奨されるワクチンは、体重ではなくお子様の年齢に基づいています。お子様が接種時に11歳なら、いつ12歳になろうとも、小児向けのワクチン接種を受けてください。これがこの年齢層にとって安全かつ効果的です。お子様がもうすぐ12歳になる場合でも、誕生日が過ぎるのを待ってワクチン接種を受けることは推奨されません。

お子様が1回目の接種後に12歳になった場合は、2回目の接種で12歳以上の人向けのワクチン接種を受ける必要があります。しかし、2回目でもしも5～11歳向けの用量の接種を受けたとしても、再度接種し直す必要はありません。

なぜワクチン接種は5歳以上の子供だけに適用されるのですか？ それより年少の子供は、いつワクチン接種を受けることができますか？

5歳未満の子供については、現在この年齢層に於ける臨床試験はまだ行われている最中ため、ワクチン接種を受けることができません。これらのワクチンが生後6か月から5歳の子供に与える影響についての十分な情報はまだ得られていません。

子供はどこでワクチン接種を受けることができますか？

ワクチン接種は、ロサンゼルス郡の数百箇所で受けることができます。これには、小児科医院、診療所、薬局、学校、特別なCOVID-19ワクチン接種会場、およびポップアップサイトが含まれます。大半の場所で予約は不必要です。最寄りのワクチンクリニックをチェックしましょう。

ワクチン訪問接種は、寝たきりなどで外出が困難な方がご利用できます。[VaccinateLACounty.com](https://www.vaccinate.lacounty.gov)にアクセスし、「[ワクチン接種を受ける方法](#)」をクリックして詳細をご覧ください。もしくは、ワクチンコールセンター（833-540-0473、年中無休 8AM～8:30PM）にお電話してください。そこでは、ワクチン接種場所への無料の交通手段を手配のサービスを提供しています。必ずお子様の年齢に適したファイザー製ワクチンを提供している場所を選択してください。

子供がワクチン接種を受ける際、どのような書類を持参する必要がありますか？

5～17歳の青少年がワクチン接種を受けるには、親または法定後見人の同意が必要です。ご家族は、接種を予定している場所の同意書に関する要件を確認してください。予約時に受け取ったEメールまたはテキストメッセージをチェックして、持参する必要がある書類を確認してください。ロサンゼルス郡公衆衛生局のワクチン接種会場の要件については、[VaccinateLACounty.com](https://www.vaccinate.lacounty.gov)にアクセスするか、ワクチンコールセンターにお電話をお願いします（上記を参照）。

私の子供は免疫不全症です。ファイザー製ワクチンの3回目の接種を受けることができますか？

これは年齢によります。お子様が12歳以上で、[免疫機能が中等度または重度に低下している](#)場合は、ファ



青少年向けCOVID-19 ワクチン

親と保護者向けよくあるご質問

ファイザー製ワクチンの3回目の接種を受けることをお勧めします。3回目の接種はプライマリー2回接種シリーズを完了した28日以上後に受けてください。現在、12歳未満の子供には3回目の接種は推奨されていません。また、18歳未満の方にはブースター接種は推奨されていません。追加接種については、お子様のかかりつけ医にご相談ください。

CDCのウェブページ「[中等度から重度の免疫不全の方向けCOVID-19ワクチン接種](#)」をご覧ください。

子供はCOVID-19と他の病気のワクチン接種を同時に受けることができますか？

はい。5歳以上のお子様は、インフルエンザ、はしか、百日咳などの他のワクチンと同時にCOVID-19ワクチンの接種を受けることができます。COVID-19ワクチン接種を受ける場所が、それ以外にもお子様が必要なワクチンを提供していない場合、いつでも別の場所でその他のワクチン接種を受けても大丈夫です。ワクチン接種の間隔を空ける必要はありません。

アレルギーのある子供はファイザー製COVID-19ワクチン接種を受けることができますか？

場合によります。

- 経口薬、食品(卵を含む)、ラテックス、ペット、花粉などにアレルギーのある人、またはアレルギーの家族歴がある子供は、ワクチン接種を受けることができます。ワクチンには、卵、ゼラチン、ラテックス、または防腐剤は含まれていません。ワクチンの成分のリストは、ワクチン接種を受ける方及び介護者向けのファクトシートで確認できます：ファイザー、[12歳以上](#)向け、ファイザー、[5-11歳](#)向け。
- (重篤でなくとも) ワクチンまたは注射療法に対してアレルギー反応を起こしたことのある人は、医師に相談して、ワクチン接種を受けても安全かどうかを判断する必要があります。
- ポリエチレングリコール (PEG) にアレルギーがあるお子様は、ファイザー製のワクチンの接種を受けないでください。

どのワクチンでもアナフィラキシー(重度のアレルギー反応)や他のアレルギー反応を起こすリスクはわずかにあります。COVID-19ワクチン接種後に、接種者全員の短時間観察を行う理由はここにあります。

アレルギー反応に関する情報は変更される場合があります。CDCの「[アレルギーを持つ方向けCOVID-19ワクチン](#)」のウェブページから最新のガイダンスを確認し、医師にご相談ください。

私の子供がすでにCOVID-19に感染した場合でも、ワクチン接種を受ける必要がありますか？

はい。COVID-19に感染したことがある場合でも、ワクチン接種は必要です。COVID-19感染後、どのくらいの期間お子様の体が保護されているかはまだ分かっていません。COVID-19感染後にワクチン接種を受けると、免疫力が高まり、感染性が高く、重篤な疾病を引き起こすウイルスの変異株を含む、COVID-19に対する防御がより長期間にわたり強化されます。

5～17歳の子供がワクチン接種を受けても安全ですか？

はい。徹底的な臨床試験が実施された結果、今年の5月に12～15歳の青少年向けにファイザー製COVID-19ワクチン(16歳以上の何百万人もの人々にすでに安全に接種されているものと同じワクチン)の使用がFDAによって承認されました。そして10月に同ワクチンの5～11歳の子供への使用が承認されました。研究の結果、ファイザー製COVID-19ワクチンは、大人と同様に5～17歳の子供にも[安全かつ効果的](#)である



青少年向けCOVID-19 ワクチン

親と保護者向けよくあるご質問

ことが示されています。このワクチンは現在、16歳以上の方にはFDAから完全に認可されており、安全性について引き続き監視されています。

ファイザー製ワクチンの接種を受けた人の心臓の筋肉の炎症（[心筋炎](#)）または心臓の外膜の炎症（心膜炎）の発症について懸念を抱いている保護者の方もいらっしゃると思います。ほとんどの症例は、2回目のワクチン接種から数日後に発症し、青年期と若年成人の男性に多いと報告されています。これらの反応は稀であり、ワクチン接種を受けた100万人あたり60症例未満と推定されています。臨床試験では5～11歳の小児に心筋炎の症例が見られなかったため、5～11歳の子供のワクチン接種後の心筋炎の発生率は不明ですが、この年齢層ではワクチンの接種量が少なく、また心筋炎がこの若年齢層ではあまり一般的ではないという事実からその発生率はより低くなると思われます。

お子様または他の誰かに以下の症状が現れた場合、直ちに医療を受けて下さい。

- 胸部の痛み
- 息切れ
- 心拍数の増加や心臓の粗動、または動悸を感じる

ワクチン接種後に心筋炎と心膜炎を報告した患者のうち、治療を受けた人のほとんどは、投薬と休息で改善し、すぐに体調が回復しています。心筋炎と心膜炎はCOVID-19感染者によく見られ、COVID-19感染による心臓へのリスクがより深刻になる可能性について注意することが重要です。詳細については、CDCのウェブページ「[mRNA COVID-19 ワクチン接種後の心筋炎及び心膜炎](#)」を参照してください。

もう1つの稀な副反応はアナフィラキシーです。これは、いかなるワクチンでも接種後に発症する可能性のある深刻なアレルギー反応です。COVID-19ワクチン接種後は短時間の経過観察が行われるので、アナフィラキシーが発症した場合でも直ちに治療を施すことができます。詳細については、CDCのウェブページ「[COVID-19ワクチン接種後にアレルギー反応が現れた場合の対処方法](#)」をご覧ください。

CDCは、5歳以上のすべての人に[COVID-19ワクチン](#)接種を推奨しています。入院、長期的な健康問題、死亡などのCOVID-19感染症による既知のリスクは、ワクチン接種に対して稀に有害事象を起こす潜在的なリスクを上回ります。

子供がCOVID-19ワクチンからCOVID-19に感染することはありますか？

いいえ。お子様がワクチン接種によりCOVID-19に感染することはありません。米国で使用されているCOVID-19ワクチンには、COVID-19を引き起こすウイルスは含まれていません。

ワクチンは不妊症を引き起こしますか？

いいえ。どのワクチンに関しても女性または男性に不妊の問題を引き起こすという生物学的理由や証拠はありません。これにはCOVID-19ワクチンも含まれます。COVID-19ワクチンの臨床試験の一環としてワクチン接種を受けた方々、試験以降にワクチン接種を受けた方々の多くが妊娠しています。ワクチンは人のDNAを変化させることはなく、青年期の発達に影響を与えるという証拠はありません。

COVID-19ワクチンは子供の月経に影響を及ぼしますか？

一部の人は、ワクチン接種後の生理の変化を報告しています。これには、より多い出血や酷い生理痛などが含まれます。これらがワクチンによるものかどうかはまだ分かっていません。月経の変化はワクチンの



青少年向けCOVID-19 ワクチン

親と保護者向けよくあるご質問

臨床試験からは報告されておらず、この問題に関する研究結果はまだありません。ストレスや睡眠、食事、運動、一部の薬など、多くの原因が月経周期の変化を引き起こす可能性があることを認識しておくことが重要です。生理不順は10代の若者の間では非常に一般的です。お子様の月経について懸念がある場合は、医師に相談してください。

COVID-19ワクチンは子供に長期的な副反応を引き起こす可能性がありますか？

いいえ、それはありません。その他のワクチン接種から分かっていることは、稀に副反応が発生する場合、通常ワクチン接種を受けてから6週間以内に発生することです。このため、食品医薬品局(FDA)は、認可されたCOVID-19ワクチンのそれぞれについて、最後に接種を受けてから少なくとも8週間、追従して研究することを要請しています。CDCは引き続きFDAによって承認されたCOVID-19ワクチンを注意深く監視しています。安全性の問題が発生した場合、FDAとワクチンの製造業者は協力して安全性の懸念（特定のロットの問題、製造上の問題、またはワクチン自体の問題など）に対処に向けて取り組みます。お子様が長期的な副反応を発症する可能性は、COVID-19ワクチン接種からよりもCOVID-19に感染することからの方が高いです。

子供がワクチン接種後に有害事象（可能な副反応）が発生した場合、どのように報告すればよいですか？

ワクチン接種後にお子様有害事象が現れた場合は、医師に相談し、副反応についてワクチン有害事象報告システム（またはVAERS）に報告してください。ワクチンが原因であるかどうか分からない場合でも、報告を行ってください。VAERSは、FDAとCDCが発生しうる安全上の問題を検出するために使用している早期警告システムです。報告する場合は、1-800-822-7967に電話するか、<https://vaers.hhs.gov/reportevent.html>にアクセスしてください。

スマートフォンをお持ちの場合は、お子様をV-Safeに登録することで、CDCがワクチン接種後の健康を監視できるようにできます。V-safeはスマートフォン用のツールで、ワクチン接種後にお子様の健康状態を確認するテキストメッセージが送信されます。お子様は別々に登録してください。すべてのv-safeのテキストメッセージは、親または保護者のスマートフォンに送信されます。

VAERS、及びV-safeは医学的アドバイスを提供していません。COVID-19ワクチン接種後に懸念される症状や健康上の問題がある場合は、医師に相談するか、治療を受けるようにしてください。

COVID-19ワクチンについて子供にどのように説明したらよいですか？

青少年がCOVID-19ワクチンについての事実を知ることが重要です。インターネットやソーシャルメディアには、COVID-19やワクチンに関する誤った情報がたくさん溢れています。COVID-19についてお子様と話し合い、お子様の持つどんな質問にも答えてあげてください。

COVID-19に感染した場合の健康上のリスクと、ワクチン接種がどのようにお子様を保護してくれるのかを教えてあげてください。ワクチンは安全であり、ワクチンにはウイルスが含まれていないことを説明してください。お子様と一緒に副反応について調べて、それらが正常であることを伝えましょう。お子様がワクチン接種を受けることに緊張している場合は、気持ちを落ち着かせてあげてください。

ワクチン接種を受けることで家族やお友達を守ることができることに改めて気付かせましょう。また、スポーツをしたり、友達と遊んだり、家族を訪問することなども、より安全にできるようになります。

お子様に質問や懸念がある場合は、かかりつけ医や小児科医など、十分知識を持つ信頼できる人と話してもらおうようにしましょう。